

2019年度ひびき保育園 自己評価詳細

○運営管理

- ・今年度は保護者への請求書を作成する時に二重チェックを行えるようにし、間違いを減らしていった。
- ・引き続き職員不足が続き、常勤の職員に対しては超過勤務を多くさせてしまった。来年度も職員雇用に努め体制を整えていく。
- ・各種書類を今の形に合わせて変更し、使用する。年度当初は少し混乱は合った。来年度に向けてさらに検討を進める必要がある。
- ・様々な職種の職員を雇用することによって保育士が保育に専念できる環境を整えられ始めている。各職種それぞれで専門性を発揮し、それぞれの観点から保育につなげられるように組織作りを引き続き行ったいく。

○安全・危機管理

- ・幼児クラスなど全クラスでコップの収納方法を変更した。場所が狭いため、コップがくっつくものもあり、方向を合わせるなど衛星管理の方法に検討が必要。
- ・コロナウイルスの発生があり、例年より職員のマスク着用の習慣がついた。手洗い・うがいなど引き続き習慣にしていける。

○保育環境

- ・1階の玄関ホールや廊下にあった備品などを整理し、乳児が障害物遊びなど遊び空間が広がった。
- ・園庭のよしずを昨年引き続き設置するが、台風の影響で昨年設置したものが破損する。毎年、買い替えるかよしずではなく丈夫なものにするか検討する。
- ・3階テラスの土が水はけが悪く改善が見られなかったため、すべての土を破棄。1階の砂場と同じ砂を入れる。一階よりやはり水はけが悪いが砂のため子どもたちが遊ぶのには支障がないが午前は日当たりが良すぎて日よけが未設置なため改善が必要。

○保育内容

- ・リズム運動が習慣にならない年齢のクラスでは、障害物遊びなどを取り入れて午前中のこの運動を中心とした活動が活発になる。
- ・短期の指導計画をより具体的に立てることによって、日々の課題の活動に保育内容が反映しやすくなった。
- ・各クラスだけではなく合同のクラスを作ったことによりクラス間の連携、各個人の課題に合わせての活動内容が提供できるようになる。

○食育

- ・栄養士が主体となり食育を進めていった。どのクラスにも均等に食育の機会が提供できるようになった。
- ・内容としては検討する課題が多いが、今年の実験を生かして来年度につなげていけるように、引き続き栄養士が食育を主導していく。
- ・プランターでの栽培などにも積極的に進めていくために来年度は栽培を主導する職員を立てて年間の栽培計画、クラスごとの活動にならず園全体で進められるようにしていく。

○子育て支援・地域交流

- ・例年通り、園舎開放・子育て講座・交流保育を実施する。低年齢の参加が多いが保育園選びの参考になったり、育児相談を行うことで地域の支援につなげられるように今後も活動していく。
- ・施設開放のとき、子育て支援ホールで利用してくれた年齢に合わせて巧技台を設定していたが、巧技台の劣化が進み数が減ってきた。巧技台を買い替えるよりホールの改修を行い、固定遊具のようなものを検討したい。
- ・一時保育は、今年非定型をなくしたからか待機児童が減ったからか、年間で利用者が減ってきた。利用したい方が予約を取りやすくなったがもう少し地域のニーズに寄り添い来年度は受け入れ年齢を広げて、1歳児クラスで2歳の誕生日を迎えた子から登録を開始するように変更していく。

保育園自己点検表（ひびき保育園）

2019年度

運営管理

1	保育理念・基本方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	Ⓐ・B・C・D・E
2	定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化や改善等に努めている	A・Ⓑ・C・D・E
3	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	A・Ⓑ・C・D・E

守秘義務

1	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	Ⓐ・B・C・D・E
2	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A・Ⓑ・C・D・E

安全・危機管理

1	事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができるところにある	Ⓐ・B・C・D・E
2	外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている	Ⓐ・B・C・D・E
3	緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	Ⓐ・B・C・D・E
4	園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している	A・Ⓑ・C・D・E

保育環境

1	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	A・Ⓑ・C・D・E
2	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	A・Ⓑ・C・D・E
3	季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じるような配慮を行っている	A・Ⓑ・C・D・E
4	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	A・B・Ⓒ・D・E

健康管理・衛生

1	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映させている	A・Ⓑ・C・D・E
2	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	Ⓐ・B・C・D・E
3	玩具、遊具等については常に衛生的に保持している	Ⓐ・B・C・D・E
4	SIDS（乳児突然死症候群）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	Ⓐ・B・C・D・E

保育内容

1	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している	Ⓐ・B・C・D・E
2	園児に分かりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている	A・Ⓑ・C・D・E
3	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	Ⓐ・B・C・D・E
4	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	A・Ⓑ・C・D・E
5	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	A・Ⓑ・C・D・E
6	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	A・Ⓑ・C・D・E

食育

1	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	Ⓐ・B・C・D・E
2	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	Ⓐ・B・C・D・E
3	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知られている	Ⓐ・B・C・D・E
4	食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食等で対応している	Ⓐ・B・C・D・E

子育て支援・地域交流

1	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている	A・Ⓑ・C・D・E
2	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	Ⓐ・B・C・D・E
3	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	Ⓐ・B・C・D・E
4	中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全員が理解している	Ⓐ・B・C・D・E

評価

- A・・・理想的な状態、達成できている状態 100%
- B・・・達成間近、取り組みなどを頑張っている状態 80～90%
- C・・・通常普通に行われている状態 70～80%
- D・・・頑張って取り組まなければいけない状態 40～50%
- E・・・ほとんど達成できていない状態 30%以下

保護者アンケート結果（ひびき保育園）

アンケートのご協力ありがとうございました。64家庭に配布し、30家庭から回答をいただきました。アンケートを集計しました。様々なご意見や感想をいただき、職員一同で話しあい、これからさらに発展していきたいと思っております。

	内 容	満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	不満
問 1	保育園の園目標や方針が知らされている。	1	2	3	4
		22 / 30	8 / 30		
問 2	子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる。	1	2	3	4
		25 / 30	5 / 30		
問 3	個人情報の扱いについて、入園説明会等で説明され、守られている。	1	2	3	4
		23 / 30	7 / 30		
問 4	意見や要望などへの対応ができています。	1	2	3	4
		18 / 30	12 / 30		
問 5	園内外が清潔で心地よい空間となっている。	1	2	3	4
		14 / 30	14 / 30	2 / 30	
問 6	子どもたちがのびのびと意見や意思が表現できるような保育が行われている。	1	2	3	4
		23 / 30	7 / 30		
問 7	遊びを通して、友達や保育士との関わりが十分持てるよう配慮されている。	1	2	3	4
		28 / 30	2 / 30		
問 8	子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気・おもちゃなどが工夫されている。	1	2	3	4
		23 / 30	6 / 30	1 / 30	
問 9	給食が楽しく食べられるよう工夫されている。	1	2	3	4
		25 / 30	5 / 30		
問 10	保育中の体調への気配りやケガ等に対して配慮されている。	1	2	3	4
		19 / 30	11 / 30		
問 11	感染症の発生状況や注意事項など健康に関して情報提供されている。	1	2	3	未回答 1
		20 / 30	8 / 30	1 / 30	
問 12	園の行事や保育の内容などが知らされている。	1	2	3	4
		19 / 30	9 / 30	2 / 30	
問 13	特別の配慮《アレルギー等》が必要な場合の対応がされている。	1	2	3	未回答 2
		22 / 30	6 / 30		
問 14	職員が子育て相談等、話しやすい雰囲気や態度で接している。	1	2	3	4
		23 / 30	7 / 30		
問 15	保育園に対しての総合満足度は？	1	2	3	4
		24 / 30	6 / 30		

その他、ご意見・ご要望をいただきました。しっかりと会議の中で議論し、今後につなげていきたいと思っております。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

ひびき保育園 園長

2019年度ひびき井土ヶ谷保育園 自己評価詳細

運営管理

外部評価機関による第三者評価を受審した。3ヶ月かけて職員全員で一つ一つの項目に関して振り返り、部署ごとに評価し話し合いを重ねて全体の評価をまとめた。その過程でそれぞれが園の運営について、知らなかった事を知るきっかけになり、自分たちの保育についても考え、見直す事ができた。法人として考え作っていかねばならない項目もあったので、今後3園で共通の物を作っていく。職員学習会ではテーマを持って月一回行った。園長、主任、中堅保育士が講師役になり「保育で大切にしていきたい事」「職員の集団作りで大切にしていきたい事」を学んだ。日々の保育の実践を理論立てて考える事により、大切にしていきたい事が共通の認識になり理解を深める事ができた。新任保育士、経験年数の浅い保育士向けに、園の方針についての特別学習会を園長が継続的に行い、他職員との理解度が揃うよう努めた。

安全・危機管理

- ・消防署の職員より、AEDの使い方、消火器の使い方を指導してもらい、園児は煙体験をさせてもらった。
- ・今年度から新たに救急対応訓練を月に一回行った。プールでの溺水、食べ物を喉に詰まらせる、薬品の誤飲、骨折、頭を強く打って意識がない等、様々な場面を想定して、職員の動き、AEDの使い方、救急車の呼び方を練習した。職員も園児も緊張感を持ち意識の向上に繋がった。
- ・災害食訓練の充実を図った。おやつ、給食と段階を踏んで行き、ガス、電気が止まった事も想定し、備蓄品を倉庫から出す作業も実際に保育士が行うなど、具体的な訓練になった。回を重ねる度に課題が見つかり職員内で話し合い、改善をして本当の災害に対応できるようにした。
- ・今年度は大型台風、台風による停電を経験した。事故やけがもなく無事に保育をする事ができたが、いくつか課題が出てきたので検討した。（投光器を購入・災害時の電話連絡の周知・災害時の保護者へ登園自粛要請の仕方について）

保育環境

- ・外物置を増やし、プールの道具と災害時備蓄品の収納を整えることができた。

保育内容

- ・保護者アンケートを読み取り、「子どもの人権を保障する」「子どもがのびのびと自己表現できる保育をしているか」についてできていない部分があることがわかり、職員全員で話し合った。基本的に大事にしなければいけない事、一人ひとりの姿勢や意識を振り返る機会になった。
- ・行事についてはその都度話し合い、ねらいを明確にしてから準備を進めた。保護者アンケートを読み取り、改善できる点は変更した。変更をしない点については、なぜそうするのか？の理由を職員内で再確認し、思いを共通にしていた。
- ・異年齢保育（きょうだいグループ）について昨年度までの反省をふまえて少人数でのより蜜な関係を意識して実践を重ねたことで、今まで以上に子どもたちの異年齢での人間関係が深まったことを実感できた。また、きょうだいグループの中でのクラスでは見られない姿を見られ、各学年で子どもたちの成長を感じることができた。
- ・今年度は新たにお正月を迎える準備を、保育の中に組み込んだ。お正月飾り、かど松、鏡餅、餅つき用のもち米、からみ餅の材料を2歳児以上のクラスで担当し、子どもたちと一緒に買いに行き飾った。お正月明けにはお飾りをただ捨てるだけでなく、どんど焼きに参加できないか？と近隣の神社に子どもと持って行くと、「どんど焼きは行っていないが塩をふってお清めしてから処分すると良い」という事を教えてもらった。自分たちが準備をしたり処分の仕方を知ったりすることで、子どもたちのお正月に対する興味、関心が高まり、日本ならではの伝統文化に触れる、良い機会になった。

食育

・定期的に食育会議を行い、食育を通しての子どもたちの育ちを振り返り、ねらいを明確にして次回へと繋げていった。どのクラスもクッキングの経験を多く重ね、作る事を楽しみ食材に対してや調理の過程に興味を持ち、手先や道具を使い器用さが増していった。4・5歳児では計量を経験し重さやかさについて知るきっかけになった。5歳児は道具を洗ったり片付けるところまで行い、仲間同士で分担し合って自主的に行動ができるようになった。卒園前には給食の食器を自分で洗う活動にも繋がった。

・各学年で野菜を育てる中で子どもたちが野菜をよく観察し、生長や変化に気づきが多かった。ただクッキングで使えるほどの野菜は収穫できなかったのも、来年度は栽培の知識を共有し、年間で見通しを持って計画していきたい。

子育て支援・地域交流

・地域の親子向けに園舎開放や育児講座、育児交流を行った。楽しいあそびを提供し、子育ての悩みに答え、発達についてアドバイスができるよう心掛けたところ、継続して参加してくれる方が多かった。

・昨年度、近隣の老人福祉施設が栽培の土のリサイクルに協力をして下さり、今年度は「お花が咲いたので見に来て下さい」とお誘いがあり、全学年で見せてもらうことができた。

・近隣の陶芸の先生に5歳児が陶芸を教えていただくことができた。手指の動かし方、力の入れ具合でどんな形にも変化する土に触れ、感触を味わいながら集中して取り組み個性豊かな作品ができた。地域の文化人と触れ合うことができ貴重な経験ができた。

・井土ヶ谷小学校2年生の授業の一環で地域のお神輿について学び、発表するという催しがあり5歳児が参加した。上町公園に近隣の保育園、幼稚園の園児、自治会の方、神社の方が集い、お神輿をかつがせてもらったり、お囃子の鐘や太鼓を触らせてもらうなど、交流をしながら貴重な体験ができた。

保育園自己点検表

2019年度

運営管理

1	保育理念・基本方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	Ⓐ・B・C・D・E
2	定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化や改善等に努めている	Ⓐ・B・C・D・E
3	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	Ⓐ・B・C・D・E

守秘義務

1	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	Ⓐ・B・C・D・E
2	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	Ⓐ・B・C・D・E

安全・危機管理

1	事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができるところにある	Ⓐ・B・C・D・E
2	外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている	Ⓐ・B・C・D・E
3	緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	Ⓐ・B・C・D・E
4	園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している	Ⓐ・B・C・D・E

保育環境

1	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	A・Ⓑ・C・D・E
2	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	Ⓐ・B・C・D・E
3	季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じるような配慮を行っている	Ⓐ・B・C・D・E
4	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	Ⓐ・B・C・D・E

健康管理・衛生

1	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映させている	Ⓐ・B・C・D・E
2	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	Ⓐ・B・C・D・E
3	玩具、遊具等については常に衛生的に保持している	Ⓐ・B・C・D・E
4	SIDS（乳児突然死症候群）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	Ⓐ・B・C・D・E

保育内容

1	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している	Ⓐ・B・C・D・E
2	園児に分かりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている	Ⓐ・B・C・D・E
3	基本的生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	Ⓐ・B・C・D・E
4	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	Ⓐ・B・C・D・E
5	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	Ⓐ・B・C・D・E
6	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	Ⓐ・B・C・D・E

食育

1	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	Ⓐ・B・C・D・E
2	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	Ⓐ・B・C・D・E
3	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知られている	Ⓐ・B・C・D・E
4	食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食等で対応している	Ⓐ・B・C・D・E

子育て支援・地域交流

1	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている	A・Ⓑ・C・D・E
2	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	Ⓐ・B・C・D・E
3	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	Ⓐ・B・C・D・E
4	中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全員が理解している	Ⓐ・B・C・D・E

評価

- A・・・理想的な状態、達成できている状態 100%
- B・・・達成間近、取り組みなどを頑張っている状態 80～90%
- C・・・通常普通に行われている状態 70～80%
- D・・・頑張って取り組まなければいけない状態 40～50%
- E・・・ほとんど達成できていない状態 30%以下

ひびき金港町保育園令和1年度自己点検・自己評価

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かしていきたいと思います。

- ・A・B・C・D の4段階評価をします。
- ・項目ごとに、意見・改善策を記述しています。

A: たいへんよい
 B: よい
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

☆保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策
保育目標について	(1) 保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				早寝早起きなど子どもの成長に必要な生活リズムを整える事を中心に子どもたちの実態を踏まえ目標を設定した。
	(2) 目標は社会要請や保護者の願いを反映しているか。	○				保護者懇談の際の要望や地域情報を受けとめ各クラスの目標に生かすようにした。
	(3) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				会議で繰り返し園目標について話し共通理解を図った。
保育について	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				年間計画・月案・週案など各クラス子どもの成長を見ながら毎月振り返りを行い作成した。
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を工夫しているか。		○			子どもたちの遊びを保障し、生活しやすい環境づくりを意識し工夫した。
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				活用して物作りなどを行っている。
	(4) 評価結果を基に、保育改善に努めているか。	○				毎月振り返り、月案に反映させて改善につなげた。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			常に見直す必要性を感じる。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				行事の前の会議では、ねらいを必ず話し合うようにし、計画に生かせるようにした。
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			クラスごとで発達にあった取り組みを行った。
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				行事後に会議などで反省し、次年度に生かすようにした。
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			保護者アンケートは作品展のみだったので、全般にわたり実施し保護者の意見を取り入れたいと思う。

☆保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策
経営・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			経験年数に合わせ、会議を行う、役割を担う、など組織的な運営を行った。
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			職員ノートでインフォメーションを随時行い協働した。
	(3) 職員の配置は適材・適所か。	○				適材・適所であった。
	(4) 係や仕事分担・割り当ては適切か。	○				係・担当役を決め、役割を明確にした。
組織運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			全体会議クラス会議など効率的に行ったが職種別会議ができると良かった。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				できる限りのことは行った。
	(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			限りある時間の中でできるだけのことは行った。内容について今後もさらに検討

項目	内容	A	B	C	D	意見・改善策	
経営・組織	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				保育目標・重点目標に基づき各クラス年間の目標を設定している。
		(2) 年齢別・クラス目標は・乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				月齢差や環境の変化などに考慮しながら設定をしている。
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				各クラス毎月の会議で子どもの実態に合わせ、ねらいの見直しを行った。
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			月齢を考慮し異年齢のグループ保育を行い、仲間意識や憧れを持つなど効果が見られた。
		(5) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○				全体会議録・クラス会議録など必ず書き集積した。年間・月間計画に評価を集積
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				各クラス手洗い・うがいの励行を行うなど保健対策を行った。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				計画に基づいて実施した。
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				感染症のお知らせなどの掲示・毎月の保健だよりなどで健康への啓発を行った。
	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			園の特色ある保育について学び保育の計画に反映させた。
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。		○			全体園内研修のための時間の確保が難しかった。
(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			○			手遊び・わらべ歌・リズム遊びなど日常の保育に生かせることができた。	
研究・研修	所外研究・研修	(1) 各種研究会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			外部研修に行けるよう保育体制を工夫するなどして職員全員が研修に参加できるよう計画したがキャリアアップ研修が先行。
		(2) 各種研究会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○				研修報告書を作成し、報告は会議に盛り込んだ。

まとめ

◎子どもたちの安全面に留意し事故なく過ごすこと、また、情緒の安定を図るとともに心身の

健康を保障し、日々楽しく遊び生活できる保育を目指し実践した。

◎第三者評価を実施することにより、法人としての中長期的計画や、人材育成についての計画において不十分であることが示されたので今後検討していきたい。

◎第三者評価の保護者アンケートでは満足・どちらかと言えば満足で100%の評価をいただいた

が、一方では利用者家族アンケートにおいて、降園の際に子どもの様子を聞きたいなどご意

見をいただき、今後改善していきたいと思う。

◎医療的ケアが必要な子どもの保育を行った。今後も看護師や各専門機関と連携をとりながら

安全な保育をこころがけ発達を保障していく。

◎環境を通した保育の実践のため、年間を通して職員がグループ別にテーマを設け研究会活動

を行い、保育の様々な環境づくりを計画し実践した。